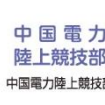




加盟
団体



トップス広島 事務局

〒734-0007
広島市南区皆実町2-8-42
猫田記念体育館1F
TEL:082-254-2012
FAX:082-251-5712
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



広島東洋カープ

目指せ！セリーグ4連覇！

2月1日(金)から2月26日(火)までの約1か月間、春季キャンプが行われた。2月13日まで宮崎県日南市の天福球場、東光寺球場で行い、2月15日から沖縄戦沖縄市のコザしんきんスタジアムで行った。

4年連続のリーグ優勝を目指し、さらに35年ぶりの日本一になるためにチームの戦力アップはもちろん、新戦力の活躍も期待される。一軍の春季キャンプには、チームの主力選手をはじめ約40名の選手が参加した。中でも、注目なのが昨年までチームの3番打者として活躍した丸佳浩選手が巨人に移籍した穴を埋める、外野手争いだ。その中で注目は、巨人から丸佳浩選手の人的補償で移籍した長野久義選手。巨人時代の2011年度にはベストナイン、ゴールデングラブ賞を受賞しており、翌年には、最多安打のタイトルも獲得している。日本代表にも選ばれており、経験においてはカープで一番といってもいいだろう。

そしてもう1人一際注目を集めているのが、ドラフト1位の小園海斗選手だ。高卒新人ながら、キャンプの一軍スタートを勝ち取った。ここから、オープン戦など実戦形式の中で開幕一軍メンバーへ向け、結果を出していきたいところだ。また、昨年ブレイクした野間峻祥選手、今年から外野手の練習を始めた西川龍馬選手をはじめカープの生え抜き選手たちの活躍にも注目だ。

熾烈なレギュラー争いの中誰がレギュラーを掴み取るのか、今後の選手たちの活躍が楽しみだ。



バッティング練習中の長野選手



JTサンダーズ

第3Leg 初勝利！

2018/19シーズンのVリーグ・レギュラーラウンド第2Legを5連勝で終え、3位につけたJTサンダーズは第3Leg初戦、豊田合成トレフェルサとの戦いに臨んだ。

第1セット、序盤から相手のペースで試合が進む。しかし、13-16から小野寺選手の速攻や深津選手のサービスエースなどで17-16と逆転に成功した。その後は順調に得点を重ね、終盤には山本選手のジャンプサーブが決まり、先にセットポイントを取った。ここから、相手の粘りもあり、24-22と僅差まで追い上げられるも、最後は相手のサーブがエンドラインを越え、第1セットを取った。

続く第2セット、序盤は拮抗した攻防が続く。JTサンダーズはエドガー選手・劉選手を中心に得点を重ねるが、状況が変化しない展開が続く。しかし18-18からエドガー選手・小野寺選手の連続ブロックやアタックが決まり21-18とリードを奪う。最後は山本選手のアタックが決まり、25-23で第2セットも勝ち取った。

勢いに乗る第3セット、JTサンダーズは小野寺選手の速攻で先制すると、安永選手のブロック、エドガー選手のアタックで6-1と勢いのある展開となる。その後も相手を突き放していき、最後は小野寺選手が速攻を決めて25-13で第3セットを勝ち取った。ストレートの快勝で第3Leg初戦を勝利で納め、リーグ戦6連勝目を飾った。

その後、レギュラーラウンドを4位で終え、ファイナルステージに進出したJTサンダーズ。今後も厳しい戦いが予想されるが、選手たちの活躍に期待したい。



声を掛け合う選手たち



やる気！元氣！ふれあいユニホッケー交流会

2月3日（日）、安佐北区スポーツセンターにおいて「ふれあいユニホッケー交流会」が開催され、約100名の子どもたちと一緒にユニホッケーを楽しんだ。

ユニホッケーとは、Universal（誰でも）とHockeyを組み合わせた造語で、「いつでも、どこでも、誰でもできる」スポーツとして愛好されることを期待して名付けられた、室内で行うホッケーである。

午前中はコカ・コーラレッドスパークスホッケー部の選手による講習会を行い、指導に合わせ、ミニゲームやシュートアウトなどのデモンストレーションを子どもたちの前で披露した。間近で見ている子どもたちは迫力のあるプレーに大興奮。午後に行われるユニホッケー大会に向けて選手たちのプレーをしっかりと目に焼き付けていた。

そして今年で第12回を迎えるユニホッケー大会は、各試合とも接戦で大いに盛り上がった。レッドスパークスの選手たちは審判や記録など補助員として大会をサポートし、子どもたちの頑張っている姿や楽しんでいる姿を見て元気をもらった。



選手の話真剣に聞く子供たち

和気あいあい Do スポーツホッケー教室

毎年オフシーズンに、コカ・コーラレッドスパークスホッケー部は広島市内の小学校を訪問し、ホッケー教室を行っている。今年は、1月に広島市内の小学校4校を訪問し、5・6年生に向けてホッケー指導を行った。

ほとんどの子どもたちがホッケー初体験で、初めて触れるスティックやボールにテンションが上がり、どの練習にも積極的に臨んでくれた。選手たちが実際にドリブルなどの技を見せた時には子どもたちから「すごい！」「上手！」など大きな歓声があがった。ホッケー教室の最後には子どもたちからたくさん笑顔が生まれ、喜んでいる姿が印象的であった。



パスの練習をする戸坂小学校の子供たち

中国電力
陸上競技部

中国電力陸上競技部

エネルギーランナーズスクール

2月16日（土）、山口県山口市の維新百年記念公園陸上競技場で小学生から中学生までを対象に「エネルギーランナーズスクール」を開催した。このスクールは、社会貢献活動の一環として中国電力陸上競技部の選手の指導により、子どもたちに走る楽しさや喜びを実感してもらうことなどを目的に2004年度から開催している。山口県内での開催は、今回で11回目となった。

当日は、「小学1年生～4年生コース」「小学5年生～中学生コース」の2つのコースに分かれ約3時間トレーニングが行われた。「小学1年生～4年生コース」は、石川卓哉選手と森宗渚選手、「小学5年生～中学生コース」は森本卓司選手と佐藤孝哉選手が指導した。どちらのコースもメニューの1つのミニ駅伝で選手と対決するなど参加者は選手たちと共にしっかりと体を動かした。まだまだ肌寒い季節が続いているが、寒さに負けず、とても有意義な時間を過ごすことができた。



サンフレッチェ広島、清掃活動で地域貢献

2月17日(日)、街の清掃活動を行うNPO法人グリーンバードと協力し第9回清掃活動を開催した。多くの方の協力のおかげで今回の活動も充実したものになった。約1時間という短時間でペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻、ビニール袋など多くのゴミが集まりサンチェ君の顔が描かれたゴミ袋はいっぱいになった。今後も継続的に実施されるこの活動へ多くの方に参加してもらいたい。

サンフレッチェ広島、ACL グループリーグ初戦に臨む

2月19日(火)に行われたACL プレーオフステージに勝利することにより、ACL グループリーグへの出場を勝ち取ったサンフレッチェ広島は、3月5日(火)にACL グループリーグ初戦となる広州恒大戦に臨んだ。先に行われたJ1リーグ戦から先発11人を入れ替えて臨んだ試合は、中国スーパーリーグの強豪相手に立ち上がりチャンスを迎えるも得点できず、その後、広州恒大に2点を許し、0-2で前半を折り返した。後半はサンフレッチェのペースで試合は進み、セットプレーなどからチャンスを迎えるが得点を奪うことができず、そのまま0-2でグループリーグ初戦を落としてしまった。残り試合、勝ち点を積み重ね、グループリーグ突破に期待をしたい。



© 2019 S.FC

必死にボールを追う選手たち



念願の昇格！

2月24日(日)に東京都立川市「柴崎市民体育館」にて、S/Jリーグ2018入替戦が開催され、日立化成と対戦した。

第1ダブルスは、平井・亀田ペアが0-2で落とすも、続くシングルスは下田選手が2-0のストレートでものし巻き返す。そして勝負のかかる第2ダブルスの江藤・小田ペアはファイナルゲームまでもつれ込むも、2-1で押し切り、結果2-1で勝利した。これにより、S/Jリーグへの昇格を決めた。応援して下さる方々の声援に応え、絶対に落とせない対戦で勝ちきれたことは、チームとして大きな自信に繋がったはずだ。来シーズンはより厳しい戦いが続くと思うがチーム一丸となって戦い抜いてほしい。



予選敗退も見えた光

2月3日(日)、大阪市港区の丸善インテックアリーナ大阪で開催された「第64回全日本インドアソフトテニス選手権大会」にNTT西日本ソフトテニス部から水澤悠太選手・船水雄太選手ペア、長江光一選手・丸中大明選手ペア、村上雄人選手・林大喜選手ペア、村田匠選手・広岡宙選手ペアが出場した。

昨年のチャンピオンとして連覇をかけて臨んだ長江光一選手・丸中大明選手ペアは1戦目を快勝し、向かえた2戦目で今大会優勝したペアと対戦し、2-4で惜しくも敗れた。

続く水澤悠太選手・船水雄太選手ペアは初戦を4-1で下した。2戦目は2ゲーム連取するが、相手の猛反撃により惜しくも敗れ、予選リーグ敗退となった。村上雄人選手・林大喜選手ペアは初戦、光るプレーは出るものの攻めきれず2-4で敗れてしまった。続く2戦目でも普段のプレーができず、1-4で敗れてしまった。村田匠選手・広岡宙選手ペアは、初戦で天皇賜杯優勝ペアと対戦し、一進一退の白熱した好試合となった。試合は、惜しくも相手に軍配が上がり敗退となった。

「第64回全日本インドアソフトテニス選手権大会」は、とても悔しい結果で終わってしまったが、今大会躍動した若い選手である村田匠選手・広岡宙選手ペアの今後の活躍に期待したい。



ボールに食らいつく船水選手



ホーム最終戦、勝利で飾る！

3月3日(日)、広島市中区スポーツセンターで行われた第43回日本ハンドボールリーグ、北陸電力とのホーム最終戦。

粘り強いディフェンスが特徴の両チームなだけに、キーパーを中心に拮抗した試合展開が続く。前半終了間際、北陸電力の池上選手が2分間の退場となり湧永製薬が得点を重ね、前半を10-9で終える。

後半も前半と同様、熱いプレーで一進一退の試合展開となった。湧永製薬は、北陸電力の須坂選手の2分間の退場によって、試合を優位に進めるも北陸電力に粘られる。しかし、今季ホーム最終戦かつ、志水選手のホームラストゲームに華を添えるべく、湧永製薬がチーム一丸となり25-21で勝利した。



子供たちの元気をパワーに

1月28日(月)、広島市立矢野西小学校で広島市が行っているDoスポーツ体育指導者招聘事業が行われた。広島メイプルレッズから角屋里帆選手、板野陽選手、中村桃子選手、近藤万春選手、三橋未来選手が参加し子供たちにハンドボールの楽しさを伝えた。子供たちは、選手から正しいパスやシュートの仕方といったハンドボールの基本動作の指導を受けた。また、基礎練習の後には実際に試合を行い選手に教えてもらったことを実践する機会が設けられるなど、今までハンドボールをやったことがない子供たちでも、ハンドボールの楽しさを十分に体感できるものであった。約2時間しっかりと体を動かし、寒さにも負けず、元気いっぱいに取り組む子供たちの姿から、レギュラーシーズンを戦う選手も大きなパワーをもらったに違いない。

子供たちからもらったパワーとチームスローガン「百万一心」を胸にプレーオフ進出・優勝に向け突き進む。

グループに分かれて活動する
矢野西小学校の子供たち



各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



広島東洋カープ

床田 寛樹 選手

生年月日 1995年3月1日

身長 181cm

血液型 A型

出身地 兵庫

↓担当者からのコメント

左ひじの手術を乗り越え、2年ぶりの1軍の舞台で貴重な左腕の先発ローテーションとして活躍してほしい。

お知らせ

トップスポーツ観戦ラリー 参加者募集！



トップス広島加盟2チームの試合を観戦してサインボールなどチーム関連商品をゲットしよう！

5チーム観戦でサイン入りレプリカユニフォーム等が当たる「GOGO トップス広島賞」のチャンス！

【対象】小学生以上 【対象期間】 2019/4/1~2020/3/16

【応募方法】対象期間の観戦チケット半券または観戦証明書(トップス事業参加証明書)を所定の用紙に2または5チーム分貼付け、区スポーツセンターまたはスポーツ協会事務局へ

【応募締切】2020年3月23日(月) ※詳しくはトップス広島ホームページにて



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

編集協力 広島経済大学 興動館
スポーツによる地域活性化プロジェクト